

薬用作物産地支援 栽培技術研修 長野会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会
 受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者
 研修目的： 薬用作物（特に国内生産重点品目）の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上
 研修実施場所： 松本商工会議所（長野県松本市中央1丁目23-1） 601会議室
 実施時期： 12月5日(火)～6日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
12月5日 (火)	13:05-13:30 (25分)	13:00 現地集合 場所：松本駅前（JR東日本） 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:30-15:30 (120分)	[現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	薬用作物産地支援協議会が、圃場での種苗増殖における生育状況・作業効率・増殖効率の調査のために委託している「安曇野みらい農園」の圃場（カノコソウ、シャクヤク）を見学し、種苗の増殖特性等について知識・技術の理解を深める。	奥原 聖人 兀下 敏幸	安曇野みらい農園 薬用作物産地支援協議会
	15:30-16:00 (30分)	移動(バス利用) →松本市内 研修会場付近	初日解散	事務局	
12月6日 (水)	9:30-10:20 (50分)	[講義] 薬用作物の国内生産拡大に向けた取り組み（仮題）	薬用作物の国内生産拡大に向けた薬用作物産地支援協議会の取り組み内容について紹介する。	小柳 裕和	薬用作物産地支援協議会
	10:25-11:10 (45分)	[講義] カノコソウ栽培の実際（仮題）	北海道におけるカノコソウ栽培の経緯、これまでの栽培方法の改良点、加工調整の改良点について紹介する。	古木 益夫	地域特産物マイスター（薬用作物）
	11:15-12:00 (45分)	[講義] シャクヤク栽培の実際（仮題）	富山県におけるシャクヤクの栽培法・調製加工法と生産振興に向けた取り組みについて紹介する。	田村 隆幸	富山県薬事総合研究開発センター 薬用植物指導センター 主任研究員
	12:00-13:00	昼 食			
	13:00-14:30 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席 (助言者) 酒井 英二	岐阜薬科大学 薬草園研究室 教授
	14:40-15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

※「薬用作物の産地化に向けた地域説明会」との合同開催

※ 内容は一部変更の可能性があります。